



お元気ですか
志村 たかよし です

第473号 2009年12月20日

日本共産党中央区議団

中央区築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

区議会に提出された5つの請願

紹介議員は日本共産党だけ

第4回定例会に提出された、5つの請願の委員会審議が始まりました。区議会への請願には、紹介議員が必要となりますが、今回も請願の紹介議員になったのは、日本共産党の議員だけでした。

提出された請願は次の5つです。

- ★「住民との合意を無視する横暴なマンション建設工事に関する請願」(環境建設委員会に付託)
- ★「2010年度の年金確保に関する請願」(福祉保健委員会に付託)
- ★「最低保障年金制度の創設と公的年金等控除・老年者控除の復活を求める請願」(福祉保健委員会に付託)
- ★「『後期高齢者医療制度の廃止法案』を、即時に臨時国会に提出し、老人保健制度に戻す請願」(福祉保健委員会に付託)
- ★「七十五歳以上の医療費の無料化を求める請願」(福祉保健委員会に付託)

横暴な建設工事に関する請願の審議始まる

12月10日の環境建設委員会では、「住民との合意を無視する横暴なマンション建設工事に関する請願」の主旨説明がありました。

請願の主旨は、「M建設が、近隣住民との話し合いを踏みにじてマンション建設を強行するので、合意のもとで工事を進めるよう指導してほしい」というものです。

M建設が行った説明会は、来年1月工事着工のスケジュールを示し、

「説明会はするがこれは工事説明会だからそれ以外の話はしない」「(意見が合わない時は)踏みつぶしてでも(工事を)やります」などと声を荒げた恫喝も受け止められるものになったそうです。

場所は築地七丁目、変則交差点付近の敷地面積約131㎡、建築面積約83㎡に、10階建てのマンションを建築する計画です(写真の四角囲みが予定建物のイメージ)。

写真の三角形の囲みは、史跡「月島の渡し跡」(三角形の区道)です。写真中央のマンションは、「築地永谷コーポラス」で、その管理組合が今回の請願者になっています。

委員会では、私(志村)が、紹介議員を代表して請願の主旨説明をしました。

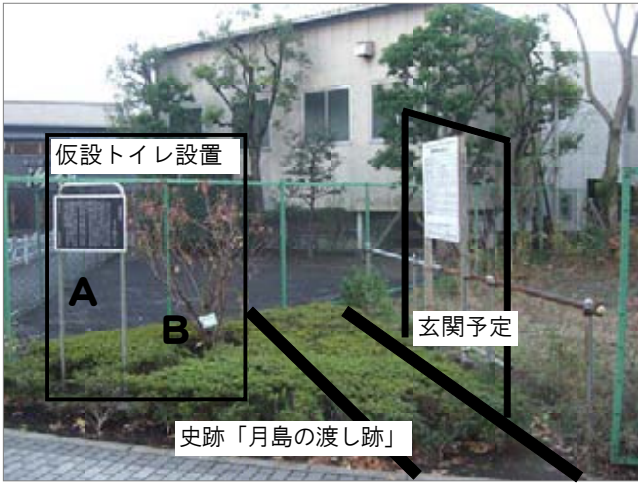
私は、「0年ほど前に計画が出され、ここ数年、表立った動きはなかつ



マンション建設が計画されている現地付近

たのに、突然、建設会社が変更され、これまでの経緯を無視して工事説明会が始められた。近隣住民にとっては「寝耳に水」の話で、建設会社の横暴な態度にもビックリしている」と説明しました。

設計図では、2階以上の住戸への入り口（写真の右側の四角囲み）は、ツツジが植え込んである「月島の渡し跡」の1・5m巾（イメージとして写真太い線ではさまれた部分）を



つづいて利用することを前提とした計画になっています。

また、工事中は、「仮設トイレ」「流し」「水槽」「発電機」を史跡部分に設置し、「仮設トイレ」（写真左の四角）設置では、史跡ブリート（A）や桜の記念樹（B）をどかしてしまう計画です。

私は、このような工事計画についても言及し、「中央区や史跡関係者、近隣住民の理解と協力がなければ実現できない建設計画だ。話し合いを望む請願者の思い、近隣住民の願いは当然のこと」と請願の採択を求めました。

請願説明後の委員会審議では、田辺七郎委員（日本共産党）の質問で、「三角形の区道」の1・5mの占用（使用）許可はまだおろしていないこと、当初計画から年月がたつてい

ることとあわせ、建設会社を変更しているので手続きは最初からやり直す必要はならず、建築確認はまだおりていないことが、区の担当者から明らかにされました。

M建設は、すでに区が認めているような話しぐりで説明していたようですが、今後の事実説明が求められます。

年金、後期高齢者医療制度の請願も審議開始

12月11日の福祉保健委員会で、全日本年金者組合東京都本部中央区支部から提出された、福祉・医療関係の4つの請願が審議され始めました。

低保障年金制度の実現と公的年金等控除・老年者控除の復活を行うよう国に意見書を上げることです。

「2010年度の年金確保に

紹介議員を代表してまりこ勝彦議員が主旨説明をしました。

関する請願」の主旨は、09年の「消費者物価指数」に関わらず、高齢者の生活実態にかんがみ、10年度年金の減額改定を行わない意見書を国に上げてもらうこととで、「最低保障年金制度の創設と公的年金等控除・老年者控除の復活を求める請願」は、最

「『後期高齢者医療制度の廃止法案』を、即時に臨時国会に提出し、老人保健制度に戻す請願」と「七十五歳以上の医療費の無料化を求める請願」については、田辺七郎議員が主旨説明を行いました。